

埼玉県

シニア災害ボランティア シンポジウム開催報告

平成28年12月14日（水）、ウエスタ川越にて埼玉県と当協会主催による「シニア災害ボランティアシンポジウム in 埼玉」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して普家埼玉県危機管理防災部危機対策幹と当協会の棚橋常務理事が挨拶し、続いて認定特定非営利活動法人レスキューストックヤードの栗田暢之氏による基調講演と各パネリストによるパネルディスカッションが行われました。



基調講演

13:10～14:10

災害とボランティア ～相次ぐ災害救援の現場から～

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之氏



栗田 暢之氏

阪神・淡路大震災でボランティアのコーディネートを務めて以降、自然災害の現場で支援活動を展開。現場での学びをかし、地域防災力の向上や災害ボランティアの育成等に尽力している。東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）代表世話人、愛知県被災者支援センター長、また、岐阜大学、至学館大学の非常勤講師も務める。

基調講演では特に熊本地震を取り上げ、現地での様々な活動から、ボランティアニーズの変化やNPOの活動、ボランティアセンターの設置状況等について講演いただきました。

パネルディスカッション 14:20～15:50

災害から地域を守る

シニアボランティア活動と今後の課題

コーディネーター

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之氏

パネリスト

埼玉県防災士会会長／危機管理・事業継続

アドバイザー 木船賢治氏

認定特定非営利活動法人キャンパー

代表理事 飯田 芳幸氏

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

常務理事 浦野 愛氏

パネルディスカッションでは実際の活動現場での課題や平時の地域防災力向上に対する災害ボランティアの活用について各方面から貴重なご意見をいただきました。



今後のボランティアの在り方などを考えるうえで大変参考となる講演となりました。